

## 連合新潟結成20周年記念事業企画委員会答申

2009年6月9日

日本労働組合総連合会  
新潟県連合会  
会長 江花和郎 殿

連合新潟20周年記念事業企画委員会  
委員長 渡辺 章衛

連合新潟執行委員会より検討を付託されました連合新潟結成20周年記念事業につきまして、当「連合新潟20周年記念事業企画委員会」は1月26日以来これまで5回の企画委員会を開催し、記念行事のあり方について検討を重ねてきました。

企画委員会での議論は多岐にわたったところでありますが、概ね以下の点について合意をみたところでもあります。

1. 連合新潟の組織率も低下するなど連合運動を取巻く情勢も極めて厳しい時期であることから、改めて連合新潟内部の結集力・団結力を強めることに目標を置くべきである。
2. しかし、同時に連合新潟の持つ社会的責任からも一般市民、地域社会などへの貢献をすべきである。
3. 2010年秋から2011年春にかけて地域協議会の結成20周年記念事業が見込まれることから、これとの連携も念頭に置くべきである。
4. 事業全体の予算の上限を概ね2,000万円程度とし、その範囲内で事業を行う。

以上の共通認識に基づき議論を重ねた結果、下記の通り20周年記念事業のあり方について取りまとめたところでもあります。

### 記

#### I、20周年記念大会・祝賀会の開催について

既に、定期大会を予定している期日で下記の要領で開催することが妥当と考えられる。

1. 開催日時 2009年11月5日(木)  
定期大会 10:30～15:30 式典・祝賀会 16:00～18:00
2. 開催場所 「新潟グランドホテル」新潟市中央区下大川前通3ノ町 2230番地
3. 出席者数 定期大会 代議員、役員290名 傍聴約50名 計340名  
式典・祝賀会 歴代役員約30名 行政関係10名 政党関係10名  
議員関係20名 福祉団体10名 経済団体5名  
連合本部・地協職員・LSCコーディネーター、その他20名  
総計約440名
4. 予 算 200万円(通常予算の超過分、イベント代含む)

#### II、20周年記念事業について

##### 1. 組織の強化

企画委員会のなかでは連合新潟が結成し20年を迎えて役員・組合員の世代交代が進む中で、

連合結成の歴史や意義について希薄になりつつあると議論されていた。組織内は連合新潟への求心力の一層の強化と連合新潟を構成する一員と自覚を目標とする事業の充実・強化。また、百年に一度と言われる経済状況悪化の中で、労働組合の必要性を広く県民にアピールすることが提起されてきた。これらについては連合新潟が従前から取り組んできたイベント事業に「20周年記念」の冠をつけ、事業規模の拡大、強化。連合新潟加盟組合員が広く参加できる企画、県民に連合新潟をアピールする企画などが検討されてきた。

このような観点から関係企画事業については以下のように考えることとする。

1) 機関紙の記念号の発行

- ①内容 発行部数は連合新潟組合員数（12万人）とし、1年をかけ4回程度発行する。その中で、連合とは（連合の役割）、連合の歴史、活動、これからの取り組みなどを掲載する。  
参加型の取り組みとして、連合に関するものや、労働法クイズなどを掲載し正解者に何らかの景品をプレゼントする。

②予算 200万円（単独事業）

③時期 2009年秋から1年間

2) トップスタディー

- ①内容 恒例のトップスタディーで「これからの連合（新潟）運動」（仮称）をテーマとした記念講演、パネルディスカッションを企画する

②予算 50万円（通常予算超過分）

③時期 2009年11月

3) 講演会・シンポジウムの開催

- ①内容 広く県民に連合（新潟）の活動を知ってもらうことを含め、「連合（労働組合）って何？」「連合（労働組合）は何をするところ？」「働き方（パート、派遣法、格差）を考える」などをテーマに著名人を招き講演会・シンポジウムを開催し、一般にも参加を呼びかける。

②予算 150万円（単独事業）

③時期 2010年5月頃

4) 勤労者駅伝大会

- ①内容 駅伝大会も2010年に20回目の開催となるので合同企画として、ビックスタウンを会場に有名選手、有名チーム等の招聘を検討する。

②予算 100万円（通常予算超過分）

③時期 2010年9月

5) 隣の単組訪問（単独事業）

- ①内容 地域における単組の横の繋がり再構築を目的とし、地協・支部単位で加盟組合名を旗に記載してもらう。旗については、受け取った組合が記名後、隣接する組合に訪問し旗を渡す。以後、同様の事を繰り返す。  
地協・支部役員→A組合→B組合・・・Z組合→地協・支部→連合新潟  
旗は、大会及び20周年記念レセプションで掲示する。

②予算 30万円

③時期 2009年7月～10月

6) 広告・宣伝（マスコミ）

- ①内容 連合および連合新潟の活動、組織拡大、連合新潟結成20周年とその記念事業

の取り組み、組織拡大を併せて、県民に広くアピールをする  
広告・宣伝については、単発的なものと長期的なものとはをからめる  
長期的な取り組みとしては、県内発行の月刊誌で企画ものとして掲載。  
単発的な取り組みとしては、新聞など。

②予算 200万円(単独事業)

③時期 2009年11月以降

7) 広告・宣伝(相談ダイヤル)

①内容 労働相談は組織拡大の大きなツールであるが、相談ダイヤルの県民への周知はまだ不足している。よって、県内に相談ダイヤルの看板、ポスター、ステッカーを設置する。

②予算 50万円(単独事業)

③時期 2009年秋以降

8) 広告・宣伝(街宣活動)

①内容 1~2ヶ月の長期期間で県内キャラバンを行う。

②予算 20万(単独事業)

③時期 2009年秋以降

9) 寄附講座

①内容 労働相談に寄せられる相談の多くは、労働法を知らないためにトラブルになっている。学生対象に、『働いてこまらないために』などをテーマに講座を行い、労働法を理解して貰う。講座で使用する資料として「働く(労働法)パンフ」などを作成する。

②予算 50万円(単独事業)

③時期 2009年11月

10) 地協の記念事業

①内容 各地域協議会も2010年秋から2011年2月にかけて順次結成20周年を迎えることになる。具体的な地域での記念事業については、地協の判断とするが、財政支援の確立が必要である。

②予算 200万円(単独事業)

③時期 2010年秋~2011年2月

小計1, 250万円

2. 地域社会への貢献について

地域社会への貢献課題としては連帯、環境、福祉を中心に議論をされてきたところである。

これら分野での記念事業企画案としては、連合新潟、地協が単独で行う事業と、LSC、NPO、ボランティア団体などとの連携が必要な事業とが考えられる。

また、単年度の事業だけでなく、長期的な課題として取り組みが必要であることから基金を創設することが妥当と考えられる。

1) 地域貢献基金の創設

①内容 将来を見据え、地域貢献事業に対し活用をする。

\* 地域でのNPO、ボランティア団体の設立、活動助成金など

②予算 200万円(単独事業)

③時期 2009年～基金予算終了までとする。

2) 地域貢献活動への助成金

①内容 地域での福祉事業について助成をする。

\*LSC、NPO、ボランティア団体、弁護士、社労士、行政書士などと連携し  
「なんでも相談会」などを実施し、その場合に助成金を交付する。

②予算 150万円(単独事業)

③時期 2009年秋以降

3) 地協への助成金

①内容 地協での連帯、環境、福祉の取り組みについて助成をする。

②予算 150万(単独事業)

③時期 2009年秋以降

3. 10周年記念事業の検証について

10周年記念事業の中で、国際貢献事業としてベトナムの次世代の人材育成を目的とした奨学金基金を創設し、新潟ボランティアセンターの協力のもと、多くの学生を支援してきた。

今年が最終年度となることから、記念事業の検証として卒業生のその後について調査を行う。

①内容 新潟ボランティアセンターに事業を委託し、奨学金受給学生のその後を調査する。

②予算 30万円(単独事業)

### Ⅲ、記念誌の発刊

企画委員会の中では、10年誌以降、この10年間の連合新潟の活動を記録にとどめ、将来、結成30年、40年、への資料として残すべき、との意見が出されたところである。

とくに、この10年間、新潟県は多くの自然災害が発生し、その度、連合新潟および、加盟組合が力を合わせボランティア活動を展開してきた。

記念誌の媒体についてはDVDでの編集も検討してきたが、予算的には差がないことから、10年誌と同様とし、発行部数については代議員、職場への配布を前提に1500部程度の発刊とする。

①内容 結成10年以降、20年の足跡を簡素に綴る記念誌とし、発行部数1500部程度とする。

②予算 200万円(単独事業)

③時期 2010年1月

小計730万円

合計1,980万円

### Ⅳ、その他

これらの記念事業企画については、概算予算の見積もり時期と執行時期とに乖離があるため、個々の事業の中で予算の過不足が生じると考えられる。特別積立ての取扱については総枠の2,000万円の予算を超過しない範囲で弾力的な運用をお願いしたい。

以上

〈連合新潟結成20周年記念事業企画委員会〉

- ・委員 長 渡辺章衛（連合新潟副会長：運輸労連）
- ・副委員 長 斉藤敏明（連合新潟事務局長）
- ・事務局長 小島 晋（連合新潟副事務局長）
- ・副事務局長 林 光弘（連合新潟執行委員：新潟地協副議長）
- ・委員 赤川 進（自動車総連）
- ・委員 小池一海（U I ゼンセン同盟）
- ・委員 桑原典子（サービス・流通連合）
- ・委員 正司政行（自治労）
- ・委員 小柳優子（女性委員会：自治労）
- ・委員 石塚岳彦（青年委員会：J P 労組）